



# 三笠だより

舞鶴市立三笠小学校  
学校だより 6月号  
平成30年6月1日発行



<http://mikasa.maizuru.ed.jp/>

## 1学期の折り返しに

春から初夏へと三笠山の緑も色濃くなり、1学期も折り返しの時期となりました。1年生が育てているアサガオも、日に日に大きくなり、2年生のミニトマトは、可愛い花や小さな青い実を付け始めました。「校長先生、見て見て！大きくなったよ。」と、キラキラした笑顔で報告してくれます。

6年生の修学旅行も、晴天に恵まれ、全員参加で無事終了しました。それぞれの見学地でしっかり学び、自分たちが立てた目当てに沿ってグループ活動を行いました。子どもたちは、それぞれ楽しい思い出を作ることができました。「修学旅行を終えてからが重要」と、「気付く・考える・行動する」を合言葉に、学校生活のいろいろな場面で最高学年として頑張っています。

1学期の折り返しにあたって、教職員で年度当初の目標と現時点での到達点を確かめ合い、後半に向けての課題を焦点化しました。教育目標「確かな学力と豊かな心の育成」に向け、今全校一致して頑張ることを『目と耳と心で、話を聴く子を育てること』としました。心から人の話を聴くことは、他者を大切にすることにつながります。うなずきながら聴くことで、自分の考えと比較して共感したり、考えをより広げたり深めたりすることができ、確かな学力につながります。みんながうなずきながら聴いてくれたという体験は、自分が大切にされているという実感につながります。教師の側も、魅力ある授業を創るという授業改善が求められます。この『目と耳と心で聴く』ということと、各学級で、全校集会で、繰り返し指導し取り組んでいきたいと考えています。

6月は、舞鶴市教育委員会が「いじめ対策強化月間」と位置付けており、さまざまな取組が進められます。本校におきましても、「全校集会」「いじめアンケートの実施」「児童一人一人との面談」「道徳の時間に、いじめについての資料をもとに授業を行う」などの取組を行います。また、児童会本部が中心となった児童主体の取組も展開したいと考えています。子どもたちに、「なぜいじめは絶対に許されないことなのか」を考えさせることを通して人権感覚を磨き、豊かな心を育成したいと考えております。ご家庭におかれましても、「友達を大切にすること」「相手の気持ちになって考えること」などを話題にしていいただく機会になればと思います。

これから梅雨に入ります。ご家庭におかれましても、健康管理に十分ご留意いただき、充実した1学期後半になりますよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

校長 小島 みどり



朝、登校してくる子どもたち、学校の下で「おはようございませう。」とお話をかけています。坂の下は、三つの方角から登校者が合流する地点です。丁度同じタイミングで坂の下まで来たときには、登校班長さんはお互いに顔を合わせ「お先にどうぞ。」と譲り合います。素敵な姿勢ですね。言葉で言われぬ以上の、この班長さんのは、この下級生は大きな姿から学ぶことはできません。

